

## ハイパーエポ シリーズ

### 特長

- エポキシ・鉄板・床材・塗料等あらゆる異種下地面に強力に接着します。
- 速硬系ですから、短時間で実用強度が発現しますので、工期が大幅に短縮出来ます。
- 主材粉体・エポキシエマルジョン・硬化液が全てセットしておりますので、配合管理が容易です。
- コテばなれが良く、作業性が良好です。
- 水系ですから湿潤面での作業が可能です。

### 用途

- 特殊下地への下地調整。
- 床面等、高接着性を必要とする下地調整。
- ウレタン防水材などのふくれ防止用下地調整。
- 耐震カーボン繊維補強界面の接着バインダー
- ハイパーエポ薄塗りタイプは、床面などの高接着性を必要とするバインダーとして使用を想定しています。
- ハイパーエポは、不陸調整や壁面に対しての使用を想定しています。

### 施工方法

#### ■ 標準配合

ハイパーエポ薄塗りタイプ		
エポキシ(主剤)	エポキシ(硬化剤)	粉体
3.5kg	3.5kg	15kg

ハイパーエポ		
エポキシ(主剤)	エポキシ(硬化剤)	粉体
2.5kg	2.5kg	17kg

予め主剤と硬化剤を容器に採り軽く攪拌して下さい。  
その後、粉体を投入しハンドミキサー等を用いて十分に混練りして下さい。  
※エポキシ(主剤)・硬化剤及び粉体は全量投入して下さい。  
尚、少量ずつご使用される場合は、上記の比率(重量比)で正確に軽量して下さい。

#### ■ 使用量

ハイパーエポ薄塗りタイプ	0.5%で25.2㎡
--------------	------------

ハイパーエポ	1%で13㎡
--------	--------

#### ■ 施工方法

##### ① 下地調整の確認

下地面が強靱であることを確認し、ホコリ油脂分は除去して下さい。  
その後、水洗い洗浄し水のたまった部分は、除去して下さい。

##### ② 塗り付け

混練りした材料をコテ等を用いて最初しごき塗りを行い、直ちに所定の厚みに塗り付けて下さい。

##### ③ 養生

降雨等を避け、硬化するまで養生して下さい。

### 荷姿

#### ● ハイパーエポ薄塗りタイプ (1mmタイプ)

22kgセット ...

エポキシ(主剤)	3.5kg
エポキシ(硬化剤)	3.5kg
粉体	15kg



#### ● ハイパーエポ (3mmタイプ)

22kgセット ...

エポキシ(主剤)	2.5kg
エポキシ(硬化剤)	2.5kg
粉体	17kg



### 施工上の注意

- 必ず高速ハンドミキサーを用いて、混練りして下さい。
- 混練りの際は、エポキシ(主剤)・エポキシ(硬化剤)及び粉体以外の異種物質(セメント・珪砂・水等)は絶対に加えないで下さい。
- 可使時間が短いので注意して下さい。
- 特にピンホールが出易い下地の場合は2回塗りをして下さい。

■ 各種基材に対する付着性（接着力強度・・・材令7日）

下地種類		薄塗りタイプ	ハイパーエポ	備考	
		接着力強度数値 (N/mm <sup>2</sup> )	接着力強度数値 (N/mm <sup>2</sup> )		
一般下地	コンクリート	乾燥面	3.15	3.21	
		若材令(材令7日以内)	2.85	2.52	
	モルタル(セメント:砂=1:3)	2.26	2.29		
	ALC	0.62	0.68		
旧下地	ウレタン床材	3.25	3.15		
	アクリルウレタン	2.12	2.30		
	エポキシ床材	2.75	2.77		
	アスファルトプライマー	2.75	2.78	油脂類が残存している場合は注意	
	ゴムアスファルト	0.83	0.87		
	FRP	表面サイディング・有	3.03	3.18	表面のパラフィン層を除去
	塗料	水系	2.81	2.79	
		溶剤系	2.56	2.62	
	塩化ビニル	1.15	1.30	可塑剤によって付着性が異なります。	
	クリンカータイル	2.38	2.45		
	カラーコンクリート	2.00	1.98	表面をポリッシャーで研磨して下さい。	
	テラゾー	2.18	2.11	表面のワックス分を除去	
ケイ酸塩系コンクリート強化材	2.38	2.02	表面をポリッシャーで研磨して下さい。		
金属	鉄板	3.21	3.15		
	溶融亜鉛メッキ	2.37	2.41	表面はサンドペーパー等で研磨して下さい。	
	ステンレス	2.10	2.05		
	アルミ板	2.64	2.73	セメントのアルカリ分によってアルミは浸されます。	

**注意** 下地が特殊な場合、実際に試験体に塗り付けて、付着性を確認してください。  
又、ホコリ等によっても付着性を阻害される可能性があります。必ず施工前に除去・清掃して下さい。

■ 強度発現試験

材令	ハイパーエポ薄塗りタイプ		ハイパーエポ	
	接着力強度	破断部位 (%)	接着力強度	破断部位 (%)
3時間	1.49	材料凝集100	1.48	材料凝集100
6時間	1.72	材料凝集20:下地凝集80	1.69	材料凝集30:下地凝集70
12時間	2.61	材料凝集7:下地凝集93	2.50	材料凝集25:下地凝集75
1日	2.71	材料凝集100	2.69	材料凝集100
7日	3.15	材料凝集100	3.08	材料凝集100
28日	3.30	材料凝集100	3.21	材料凝集100

※試験条件

- ・ハイパーエポ・標準用を使用。
- ・コンクリート平板(300×300×50)に0.5%厚塗り付け。
- ・塗り付け及び養生は標準養生(20℃、65%RH)にて行った。
- ・建研式接着力試験機にて、接着力強度を測定。

※破断状況

- ・下地凝集・・・下地コンクリートの内部凝集破断
- ・界面・・・下地コンクリートとハイパーエポとの界面破断
- ・材料凝集・・・ハイパーエポの内部凝集破断

■ JIS A 6916 に準拠した試験性能

	単位	ハイパーエポ薄塗りタイプ	ハイパーエポ	当社カチオン系製品	C-2 規格値	
耐ひび割れ性	-	なし	なし	なし	ひび割れが無いこと	
耐衝撃性	-	なし	なし	なし	ひび割れはがれが無いこと	
付着強さ	標準養生	N/mm <sup>2</sup>	3.30	3.21	2.28	1.0以上
	低温養生	N/mm <sup>2</sup>	3.12	3.05	1.98	0.7以上
吸水量	g	0.61	0.59	0.62	1.0以下	
耐久性	割れ、はがれ	-	なし	なし	なし	ひび割れはがれが無いこと
	付着	N/mm <sup>2</sup>	2.83	2.98	1.88	1.0以上
曲げ	N/mm <sup>2</sup>	4.81	5.33	4.55	-	
圧縮	N/mm <sup>2</sup>	28.5	30.3	27.2	-	

※薄塗りタイプはエポキシが多いため付着強度が強い

保管上の注意

●雨露を避け湿気の少ない場所で保管してください。尚、エポキシ及び粉体はペール缶から取り出して保管しないで下さい。

安全上の注意

●セメントのアルカリ分・エポキシ等で皮膚の炎症をおこすおそれがありますので、使用時は保護メガネ・保護手袋などの保護具を着用して下さい。●製品が目に入った場合は、ただちに水洗いをして、すみやかに医師の診断を受けて下さい。●製品が皮膚に付着した場合は、付着した衣類・靴を脱ぎ、付着した部分を水に流しながら洗浄して下さい。皮膚に変化が見られたり、痛みがある場合はただちに医師の診断を受けて下さい。●製品を飲み込んだ場合は、すみやかに多量の水を飲ませ、吐かせた後、ただちに医師の診断を受けて下さい。●製品を吸入した場合は、水又は温水でうがいさせ、ただちに医師の診断を受けて下さい。●室内で施工する場合は、換気を十分にして下さい。●取り扱い後は、顔・手・口などを洗浄して下さい。●漏出した製品が河川・下水道へ流入すると環境を汚染する恐れがありますので十分注意し、産業廃棄物として処理して下さい。